

◆安倍首相による9条改憲に反対 改憲発議の阻止を!

日本共産党船橋議員団

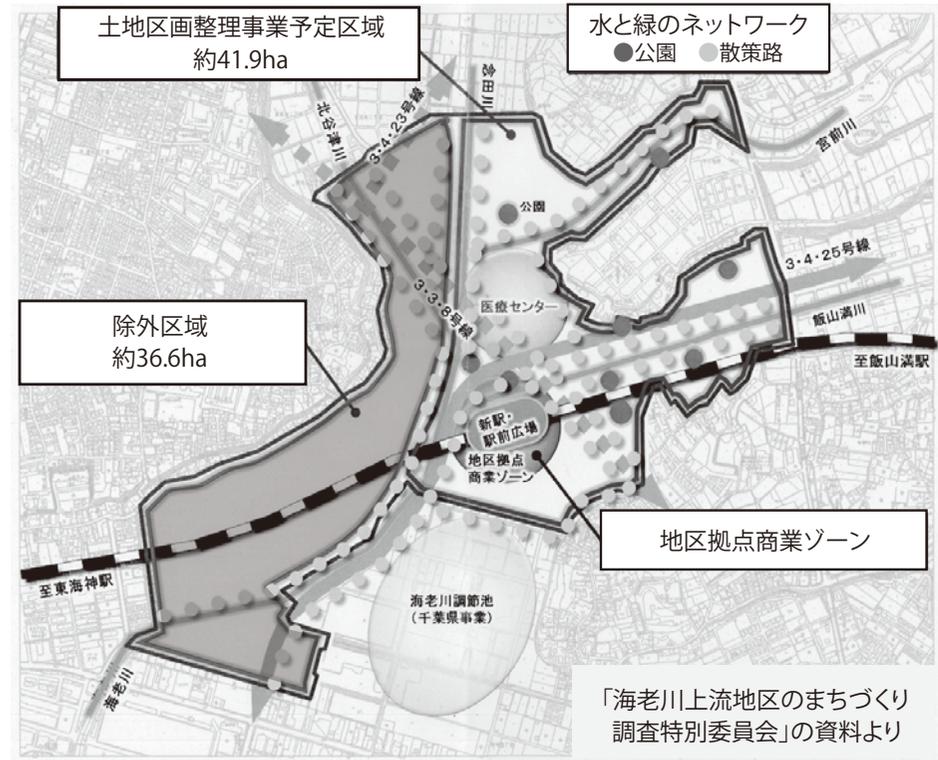
ミニにゅうす

日本共産党国会議員団千葉事務所 ☎043-302-2005
 県会議員 丸山 慎一 ☎047-424-6347
 <市議団控室☎436-3030 FAX420-7201>
 市会議員

岩井友子 ☎438-8647 事務所☎429-2160
 金沢和子 ☎422-5278
 坂井洋介 ☎404-2039
 佐藤重雄 ☎432-9872

関根和子 ☎447-0557 事務所☎440-7950
 中沢 学 ☎493-8140
 松崎さち ☎090-6156-8592
 渡辺ゆう子 ☎462-7273

市がメディカルタウンの 土地区画整理事業区域の縮小案を提示



「海老川上流地区のまちづくり調査特別委員会」の資料より

8月18日に行われた海老川上流地区のまちづくり調査特別委員会、メディカルタウン構想の区画整理事業区域の縮小案が報告されました。(図参照)

これまででは78.5ha全体を区画整理事業で整備することになっていましたが、事業期間や緊急性、合意形成などを検討した結果、区画整理事業の事業区域を41.9haに縮小する案となったものです。

区画整理事業の事業費総額も約298億円から約148億円となり、医療センターや新駅設置分を

除く船橋市の助成金は約55億円から約30億円になります。減歩率も約49%から約41%に変更されています。

メディカルタウン開発はこの地区のスーパーロル化(農地が宅地、資材置き場、墓地など虫食いの開発)を防止良好なまちづくりをすすめることが目的だったはずですが、ところが今回の縮小案はスプロール化した地域をはずして、耕作放棄が進んではいるものの広大な農地が広がっているところだけを開発するものです。問題は棚上げして、新駅を作りニュータウン開発に市がのめりこんでいる異常さを感じます。

図書館民営化

退職者次々 館長も不在に

昨年3月の予算議会、市長が市政執行方針の重点事業として掲げたものに「市民に愛され、育まれるまち」というのがあります。市長はこの中で、「図書館サービスの向上を図るため、西図書館以外の3館(中央、東北)を指定管理者による運営とする(＝民営化する)」と表明し、それを実行しました。

今年4月から3館が民営化されましたが、新しく始めた「アロマの香り」やカウンターのレイアウトに対する苦情、返却本が配架されないままブックトラックに5台も6台も積まれたままになっているなど、図書館の質の低下を招く事態となっています。

さらに移行直後から3図書館の人事異動が異常な状態となっていることも明らかになりました。中央図書館では、管理運営開始からわずか2ヶ月で館長代理が退職し、新たな館長代理を新規採用。6月30日には2人の職員が退職しています。東図書館では、4月30日に総務主任と非常勤職員が退職、5月12日に非常勤職員が退職しています。

北図書館では、5月31日に非常勤職員が退職、7月24日には常勤職員が転出し、8月1日にはなんと館長自身が異動で船橋市外に転出しています。その穴を埋めるために、新規採用された中央図書館の館長代理が北図書館の館長代行として派遣され、

昨年度決算

多額の財源浮かせ積立金維持

市長から昨年度の市の決算が提出されました。一般会計の剰余金は39.9億円。そのうち22.8億円を積立金(財源調整基金)に繰り入れました。この結果、積立金の残高は194.6億円(平成29年5月末現在)。依然として高水準の状態にあります。

不要不急の浪費的事業につき込む一方で、福祉を削り、市民生活を後回しにして、多額の財

源を浮かせ、さらなる浪費事業のための潤沢な積立金を維持するという財政運営が続けられています。

日本共産党船橋市議団主催

無料法律相談

10月11日(水)
11月 9日(木)

弁護士が相談を受けます
労働相談も受けています

会場：中央公民館
時間：午後1時～4時
要予約 ☎436-3030